

事業概要【多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業】旧制度（推進）

申請者	富山県ほか15自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,138,276千円 (171,378千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	本県の自然、食、住環境、伝統文化等が有する「価値」に共感してもらえるターゲット層に戦略的にアプローチし、コアな富山県ファン・リピーターの獲得、定住も視野に入れた観光交流の促進等による県内経済の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 「稼げる」観光地づくり、戦略的プロモーション、国際観光の推進、文化振興拠点の魅力向上に取り組む。 【主な経費】 ●アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり ・体験型・滞在型の観光コンテンツの開発など 7,560千円 ほか ●北陸新幹線の敦賀開業効果を波及させるための戦略的プロモーションの展開等 ・旅行商品の造成・販売を促進など 22,312千円ほか ●「日台観光サミット」の成果を活かした国際観光の推進 ・現地ニーズに即した旅行商品造成など 2,000千円 ほか ●文化振興拠点の魅力向上 ・高志の国文学館の展示機能の充実、トークイベントや体験型イベントなど 7,068千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額単価（宿泊・日帰り）（+3,110円／人回） ②観光入込客数（実数）（+2,685千人） ③日本橋とやま館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数（+25,000人） ④県立美術館等の年間来館者数（+520,000人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町の広域連携事業

事業概要【Startup connect project】

旧制度（推進）

申請者	富山県ほか 2 自治体※	初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	919,826千円 (145,946千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	誰もが起業にチャレンジできる環境づくりが重要であり、スタートアップの核となる突き抜けた人材が県内で自由に活躍しやすい環境をつくる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 スタートアップ支援、まちづくり支援、事業承継等によるイノベーションの創出に取り組む。 【主な経費】 ●スタートアップ支援事業 ・スタートアップエコシステムの形成に向けた大規模イベント開催等 委託料、負担金等 40,666千円 ほか ●まちづくり支援事業 ・商店街等の活性化につながる取組み支援など 補助金 1,000千円 ●事業承継等によるイノベーション事業 ・事業承継に係る現状調査 補助金、委託料等 11,609千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内大学発ベンチャーの起業件数（+13件） ②県創業支援センター利用者の創業件数(+24件)		関連URL https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、高岡市、入善町の広域連携事業

申請者	富山県ほか4自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	859,074千円 (126,799千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	県民の結婚・出産・子育ての希望がかない、安心して子どもを生み育てられる環境、仕事と家庭生活との両立が実現できる環境、すべての子どもが心身ともに健やかに成長し、次代の社会を担う者として自立できる環境を整備。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 多様性や寛容性のある環境整備、子育てしやすい環境整備、ライフステージ、ニーズに応じた移住、定着支援に取組む。 【主な経費】 ●多様性や寛容性のある環境整備 ・ウェルビーイングの認知度向上と本県独自の指標を活用した政策展開 委託料、事務費 15,330千円 ほか ●子育てしやすい環境整備 ・労働制度の普及啓発、好事例の紹介を実施 委託料、事務費等 5,400千円 ほか ●ライフステージ、ニーズに応じた移住、定着支援 ・ワーケーションの魅力を発信するセミナーやSNS広告 補助金等 5,000千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①住みよさランキングの50位以内の市町村数（+9市） ②男性の育児休業取得率（+8.9%） ③県・市町村等の相談窓口を通じた移住者数（+190人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、高岡市、黒部市、上市町、入善町の広域連携事業

事業概要【開疎な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	富山県ほか 15 自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	595,128千円 (92,768千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	グリーン・トランスフォーメーション、サーキュラー・エコノミー（循環経済）の確立、それらを下支えする基盤となるデジタル・トランスフォーメーション（DX）を有機的に統合・推進し、再生可能エネルギーの地産地消や環境・エネルギー産業の育成等により地域活性化や産業活性化、防災力強化も併せて実現することにより、脱炭素社会において持続し、選ばれる「開疎な脱炭素コミュニティ」の構築を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 県市町村が連携した脱炭素、持続可能な社会づくり、水資源の保全・活用に取組む。 【主な経費】 ●ワンチームとやま脱炭素プロジェクト ・脱炭素に関するコンテンツの充実、事務費・委託料 1,320千円 ほか ●持続可能な社会づくり ・セミナー等の実施及びマニュアル作成、不法投棄未然防止体制の整備 委託料等 18,206千円ほか ●水資源の保全、活用 ・海洋教室やイベントへの補助 4,988千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①エネルギー消費量の2013年度比の削減率（+7.8%） ②県内市町村での地球温暖化対策推進法実行計画（区域施策編）の策定率(+86.5%) ③一般廃棄物循環利用率（+2%） ④北東アジア地域の中高生を対象とした、環境保全に取り組む人材を育成する事業の参加人数（150人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町の広域連携事業

事業概要【ポストコロナの海外展開事業】

旧制度（推進）

申請者	富山県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	740,241千円 (108,633千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	コロナ禍により落ち込んだ海外輸出、インバウンドといった産業、観光分野においてポストコロナの反転攻勢施策を進めるにあたり、外国人材の技術や才能を活かし、コロナ前の経済に戻す努力ではなく、コロナ前を超える経済状況を目指し、日本人にも外国人にも、働きやすく、暮らしやすい地域づくりを進め、世界に選ばれる「元気とやま」を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ポストコロナの反転攻勢施策事業（外国人材の活躍促進、海外輸出、国際観光）に取り組む。 【主な経費】 ●外国人材の活躍促進 ・ネットワーク会議を開催 委託料、事務費 900千円 ●ポストコロナの反転攻勢（海外輸出） ・経済交流の促進、経済訪問団の派遣、ポップアップストアの開設等 委託料等 7,450千円ほか ●ポストコロナの反転攻勢（国際観光） ・コーディネーターの配置、外国船寄港時のタクシー待合所等の設置など 補助金、委託料、事務費 30,510千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①富山県の貿易額（輸出入額合計）（+1,781億円） ②外国人延べ宿泊者数(+1,051,000人) ③富山県内の「専門的・技術的分野の在留資格を持つ外国人労働者数」（+919人）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

事業概要【産官学連携によるオープンイノベーション創出プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	富山県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	744,018千円 (198,106千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	産学官連携により「薬都とやま」の産業集積を活かしたライフイノベーションの創出を目指すほか、次世代自動車、航空機、ロボット等の成長分野の更なる振興を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 オープンイノベーションによる新商品・新技術開発と、大学発技術シーズの加速化のほか、専門人材育成に取り組む。 【主な経費】 ● 成長分野におけるオープンイノベーション ・成長分野における有望な技術シーズを発掘・採択 委託料 5,000千円 ほか ● 医薬品分野におけるオープンイノベーションと専門人材育成の推進 ・県内大学の研究開発や事業化・実用化の推進に対する支援 補助金 76,000千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①従業員1人あたりの付加価値額(ものづくり産業) (+127.5万円) ②県内産学共同研究数 (成長分野対象) (+24件) ③県内大学における特許等知的財産権の出願件数 (医薬・バイオ分野) (+8件) ④県内大学から県内製薬企業への就職者数 (+25人)	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

事業概要【「寿司」を突破口としたブランディングによる関係人口増加プロジェクト事業】

旧制度（推進）

申請者	富山県ほか 5 自治体※	初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	855,666千円 (286,811千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	多くの方に富山県を認知し、関心を持ってもらえる状態を作り出す必要があるため、寿司をキーワードに戦略的に富山県の魅力を伝え、富山県の価値を高めるための地域ブランディングを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 富山県の強みであるダイナミックな地形からの恵みとして、わかりやすい「寿司」を各分野の共通の軸として課題解決を図る。 【主な経費】 ●ブランド確立に向けた展開 ・体験型・滞在型コンテンツ等をSNSや動画等で著名人のプラットフォームを活用した情報発信など 委託費10,340千円ほか ●プロモーション等による消費喚起に係る取組み ・インバウンド向けの食に特化した訪日メディアサイト掲載など 委託料4,700千円 ほか ●ブランド基盤を支える取組み ・寿司店舗への雇用環境改善に向けたアドバイス等の伴走支援 委託料2,570千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額（+361億円） ②担い手育成関係事業に参画した人数(+73人) ③磯根資源養殖生産量（+3.2トン） ④主要都市圏で「寿司と言えばイメージする都道府県」で「富山県」を第一想起する方の割合（+61.1%）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/kekaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、射水市、氷見市、黒部市の広域連携事業

事業概要【地域の「投資」と「参画」による駅を中心とした交通まちづくり事業】旧制度（推進）

申請者	富山県ほか 13 自治体※	初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	521,102千円 (171,034千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	県民のウェルビーイングを向上させる最適な交通サービスを実現するために、地域の「投資」と「参画」を得るとともに、本県が有する鉄軌道ネットワークという「財産」をまちづくりに活かし、地域による駅を中心とした交通まちづくりを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 地域交通サービスの確保・向上に向けた自治体・県民の「投資」「参画」の推進に取組む。 【主な経費】 ●まちづくりと連携した駅の機能強化に対する「投資」事業 ・観光案内所の機能向上等 負担金17,490千円 ほか ●鉄軌道サービスのレベル向上と地域内のモビリティサービスに対する「投資」事業 ・鉄軌道サービスのダイヤ平準化の取組み支援など 補助金33,268千円 ほか ●地域交通ネットワーク内の移動・交流の創出に対する「投資」事業 ・システム開発費やプロモーション費の支援など 補助金10,000千円ほか ●地域の活力・魅力向上のための「参画」促進事業 ・アドバイザー派遣費 1,000千円ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（-30,755人） ②中心市街地等の歩行者通行量（富山市・高岡市の中心市街地及び駅周辺の歩行者通行量）（+342人） ③県民 1 人当たりの地域交通利用回数（+5.1回） ④県内の自動車保有台数（貨物・特殊車両除く）（-53,580台）	関連URL	https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、富山市、高岡市、魚津市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、上市町、立山町、入善町、朝日町の広域連携事業

事業概要【Toyama Digital Transformation Project】

旧制度（推進）

申請者	富山県ほか7自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,983,618千円 (333,846千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	「県民目線」「スピード感」「現場主義」の3つの視点で、デジタルによる変革（DX）及びDXによる働き方改革を強力に推進していくことにより、県民の「真の幸せ（ウェルビーイング）」を追求する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 デジタル基盤づくり、県内企業等のデジタル推進、デジタル人材供給拠点づくりに取り組む。 【主な経費】 ●デジタル基盤づくり ・データ連携基盤の拡大、利活用促進 委託料等 69,460千円 ほか ●県内企業等のデジタル推進 ・中小企業などを対象としてワークショップや講演会、相談会 1,930千円 ほか ●デジタル人材供給拠点づくり - 県立大学にDX人材の育成や学生の確保、遠隔事業の推進など 委託料 72,000千円 ほか		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①データ利活用による地域課題解決の取組み件数（+60件） ②データ利活用を推進する官民連携の組織に参加する企業・団体数（+300団体） ③県立大学でのDX関連教育を受けた社会人数（+150人） ④県立大学におけるDXに関する相談受付件数（+25件）		関連URL https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html

※富山県、黒部市、射水市、入善町、滑川市、高岡市、魚津市、小矢部市の広域連携事業

事業概要【新川こども施設整備・運営事業】

旧制度（拠点）

※PFI活用

申請者	富山県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,831,309千円(112,859千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	こどもたちが天候に関わらず思いきり遊ぶことのできる屋内遊戯施設「新川こども施設」を整備し、こどもたちの主体的な遊びを通じた非認知能力や運動能力の向上を図るとともに、子育て世代の満足度を高め、こどもたちの郷土への誇りや愛着を醸成することで少子化の抑制と県内への定住促進につなげる。		
整備内容・ 利活用方策	本事業では民間の創意工夫を最大限引き出すため、施設の設計・施工から維持管理・運営までを事業者が一体的に実施するPFI-BTO方式を導入する。 本施設は、ハード面ではこどもたちが天候に関わらずダイナミックに遊ぶことのできる大型遊具や、家ではできない体験を提供するデジタルコンテンツを使った遊びを提供するほか、ソフト面では地域の企業等と連携した体験プログラムを開催するなど、ハード・ソフト両面で本県の子育て環境の魅力向上に資するオリジナリティにあふれた施設を目指す。 また、施設全体についてインクルーシブデザインに十分配慮した設計を行うとともに、多様な方とのコミュニケーションを支援するAI機器等を配備するなど、国籍や障害の有無等に関わらず楽しめる施設とする。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築設計・工事】 建築基本設計 22,250千円、建築実施設計 45,849千円、 建築工事（準備工事） 10,000千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【遊具設計】 遊具基本設計 14,553千円、遊具実施設計 20,207千円		
KPI	①本施設の周辺市町村の人口（▲13,635人） ②本施設の周辺市町村の出生数（0人） ③本施設の利用者数（+230,000人） ④本施設でイベント・プログラムの開催に協力いただける地元企業や地域団体等の数（+48団体）		（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.toyama.jp/140401/kurashi/kyouiku/kosodate/shienjigyoku/niikawakodomo/20220311.html （効果検証） https://www.pref.toyama.jp/140401/kensei/kenseiunei/keikaku/miraisouzou/kj00015433/index.html



※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【持続可能で競争力の高い農林水産業実現プロジェクト】

申請者	富山県ほか 6 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,134,618千円 (356,486千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	今後、ますます人口減少が進行し、就業者が高齢化するなかでも、多様な担い手により本県の農林水産業が持続的に成長すること、生産コストに見合った合理的な価格形成により物価高騰の中でも食料システムが維持されること、また、高温等の気候変動にも打ち克つ農林水産業を推進することなどにより、将来にわたり県民に安全・安心な食料が安定的に供給され、本県の食料安全保障が確保され、ひいては日本全体の食料安全保障への貢献を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 新規就農者の確保・育成、多様な人材の活用、リーディング経営体の育成・集落営農の後継者対策、生産性・収益性の向上、気候変動等への対応に取り組む。 【ソフト事業経費】 ●人口減少に適応した担い手確保事業 ・研修制度を核とした新規就農者の受入体制支援等 事務費、補助金 3,500千円ほか ・農業での短時間の就業機会の創出を支援等 補助金 1,000千円ほか ●物価高騰や気候変動に適応した持続的な収量の確保・事業継続事業 ・リーディング経営体の育成のため、生産から販路までの一体的な支援等 補助金11,850千円ほか ・農業者の作業効率改善に経費支援 補助金 1,800千円ほか						
地域の多様な 主体の参画	農業団体等と合理的な価格形成に関する情報発信において、県内農業法人、農家との連絡調整を行う。					KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度まで の「KPI増加分の累 計」の目標値	①農業産出額（+60億円） ②新規就農者数（+42人/年） ③輸出に取り組む事業者数（+45者） ④県産材素材生産量（+18,000m3）

※富山県、高岡市、砺波市、南砺市、射水市、立山町、入善町の広域連携事業

事業概要【中山間地域をリードするローカルプレイヤー創出プロジェクト】

申請者	富山県ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	436,256千円 (150,332千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	富山県の中山間地域は、県全体より人口減少・高齢化のスピードが速く、特に生産年齢人口の減少が顕著であるなかで、中山間地域の持続可能な地域社会の形成に向けて、新たなビジネスを生み出し、「地域社会」と「地域経済」をリードするローカルプレイヤーの創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 多彩なプレイヤーの活躍、移住者の増加、地域資源を生かしたローカルビジネスへの支援や人材の育成に取り組む。 【ソフト事業経費】 ●若者や移住者など多彩なプレイヤーの活躍による地域経営力の強化 ・地域資源の新たな活用や課題解決のためのプレイヤーの活動等に対して支援等 補助金25,000千円ほか ●地域資源を生かしたローカルビジネスへの支援や人材の育成 ・第二創業やアトツギベンチャーを促進するための研修、プログラム委託料 4,500千円						
地域の多様な 主体の参画	地元企業等が官民連携会議に構成団体として関与する。 中山間地域を有する県内市町村と地域課題について意見交換をおこない、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県・市町村の移住相談窓口等を通じた移住者数（+90人） ②地域と企業・団体等が連携する地域活性化活動数（+24組織） ③新規法人設立数（+60社）

※富山県、黒部市、南砺市の広域連携事業

事業概要【能登半島地震からのとやま観光復興プロジェクト】

申請者	富山県ほか 15 自治体※						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,244,088千円 (397,350千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	能登半島地震からの一刻も早い観光需要の回復を目指すとともに、担い手の確保が難しくなる中でも、インバウンド需要の取り組み等により観光業の持続可能を高め、自然や歴史、伝統、文化など、富山の観光業を支える地域の滞在価値や魅力を、災害があっても負けず、未来に向けて承継していくための取り組みを進めていく。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 能登半島地震で影響を受けたエリアへの誘客強化、持続可能な観光地域づくりの推進、新たに観光を取り巻く環境変化への対応、地域一体となった受入環境整備・インバウンド需要の取り込みに取り組む。 【ソフト事業経費】 ●能登半島地震からの観光需要の回復と、持続可能性の高い観光地域づくりの推進 ・黒部峡谷鉄道の全線開通後に新たに造成を予定している旅行商品に係る造成支援やプロモーション等 補助金2,100千円、委託料3,900千円、事務費500千円ほか ●サステナブルツーリズムやアドベンチャーツーリズムなど新たに観光を取り巻く環境変化への対応と受入環境整備 ・付加価値の高い新たな宿泊施設の誘致に向けた検討会の開催や事業者の招へい、調査事業等 委託料19,800千円、事務費3,463千円ほか							
地域の多様な 主体の参画	DMOと市町村・各団体と連携し、地域一体となって、地域に必要な事項の調査と分析、データ収集、伴走や助言を行う。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+150億円） ②県西部6市の観光客入込数（+2,370千人） ③県内の宿泊施設稼働率（+7.5%）

※富山県、富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町の広域連携事業

事業概要【県内企業の持続的発展”T X（Toyama Co. Ltd. Transformation）”推進プロジェクト】

申請者	富山県ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	558,874千円 (185,705千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	県内企業による賃上げが経済の活性化、生産性やスキルの向上をもたらし、それがさらなる賃上げにつながる構造的賃上げを実現することで、県内企業の魅力を向上させる。そして、UIターン就職者や外国人材、障害者など多様な人材が魅力的な県内企業に引き寄せられることで、県内企業による多様な人材の活用を推進し、県内企業の持続的な発展を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 県内企業の多様な人材確保・活用支援、県内企業における持続的な発展、若者、学生等への県内企業の魅力の創出と発信に取り組む。 【ソフト事業経費】 ● 県内企業の多様な人材確保・活用支援事業 ・採用コーディネーターの配置、情報発信ブラッシュアップセミナーの開催等 委託料 14,937千円 事務費 15,346千円ほか ● 県内企業における持続的な発展の取組み支援事業 ・Off-JTによるリスキリング等 委託料 9,000千円ほか ● 若者、学生等への県内企業の魅力の創出と発信支援事業 ・地域産業等と連携した課題解決型学習等 報償費、旅費6,814千円、研修会委託料3,040千円ほか						
地域の多様な 主体の参画	県内企業と県内就職促進等を目的としたセミナーや交流会等の共同開催及び県内産業・企業の魅力発信に係る連携を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン就職者数（+30人） ②県内大学生等の県内就職者割合（+3ポイント） ③県内企業情報発信サイト登録企業数（+510社）

※富山県、黒部市、射水市の広域連携事業

事業概要【「循環の地、富山」創造プロジェクト(サーキュラーエコノミーによる県内ものづくり産業の新たな価値創造)】

申請者	富山県ほか 5 自治体※						初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	611,205千円 (209,035千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	本県が「サーキュラーエコノミー(C E)を先導する地域」、「環境意識が高い地域」として認知され、地場産業の持続的な成長や、雇用創出、魅力ある地域づくりの実現により、成長と分配の好循環を地方経済にもたらす。この好循環によって都市圏との時給ベースの賃金水準格差を是正し、製造業従事者を中心に地域住民のウェルビーイング向上を目指す。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 県内ものづくり産業におけるCEビジネスモデルの創出をはじめ、県内で排出される廃棄物の循環利用量の増加、循環利用促進に向けた技術課題の解決、県内企業や消費者におけるCEの受容度向上に取り組む。 【ソフト事業経費】 ● 県内ものづくり産業によるサーキュラーエコノミービジネスモデルの創出 ・CEに取り組む必要性や技術課題をテーマとしたセミナー開催等 事務費5,400千円ほか ● 廃棄物の循環利用 ・異業種連携による新たな価値創出に向けた廃材展示会の開催支援等 補助金16,000千円ほか ● サークュエコノミーの受容度向上 ・県内中学生へのCEに取り組み企業への見学会等 補助金1,600千円ほか							
地域の多様な 主体の参画	県内企業が抱える課題の解決に向けて、製品・素材別の勉強会等の開催を通じて、C E への理解醸成を図るとともに、研究開発や動・静脈連携、企業間ネットワークの構築など県内企業の C E への参入を促進する。						KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度まで の「KPI増加分の累 計」の目標値	① 県内製造業の付加価値額 (+ 158,904百 万円) ② 産官・産学官連携による共同研究開発件数 (+ 6件) ③ 県内中高大学生におけるCE・ものづくり関連 企業見学会等への参加者率 (+ 0.27%) ④ 廃プラスチック類の最終処分率 (▲ 2.60%)

※富山県、高岡市、黒部市、魚津市、入善町、朝日町の広域連携事業

事業概要【富山県スポーツによる関係人口の創出と地域活性化プロジェクト】

申請者	富山県ほか4自治体※						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	322,142千円 (188,040千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	本県のスポーツ環境の充実・魅力向上等の取組みを通じて、県内外からのスポーツ大会参加者や観戦者による交流人口の増加、観光消費の増加やスポーツ産業振興による地域への経済波及効果、スポーツチームの応援を通じた地域への愛着やシビックプライド醸成による人口流出の抑制・社会増、域外からのヒト・カネの好循環を生み出しスポーツによる「稼ぐ力」を高める。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 令和7年度に県版スポーツコミッションを設立し、市町村・スポーツチーム・競技団体・企業等多様な主体との連携・協力体制を構築し、本県の優れたスポーツ環境のPRや大規模大会等の誘致・開催支援等に取り組み、スポーツを通じた関係人口の創出、地域活性化に取り組む。 【ソフト事業経費】 ● 県内スポーツ環境PR・大会合宿誘致による関係人口創出 ・大会・合宿誘致パンフレット作成等 1,000千円ほか ・県版スポーツコミッション総会等開催費等 会場使用料 148千円ほか ● スポーツチームを活用した地域活性化支援事業 ・県民向けシンポジウム開催 謝金・旅費、会場使用料等 662千円ほか ・スポーツチームとの連携による地域活性化活動支援事業支援等 補助金800千円ほか							
地域の多様な 主体の参画	スポーツチームが県版スポーツコミッションの構成団体として市町村等との地域連携・地域活性化に取り組む。また、コミッション総会で聴取した各チームからの意見を踏まえて事業に反映する。						KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①県内プロスポーツチーム年間観客総数の増加（+7,110人） ②スポーツ大会等に伴う県内宿泊者数の増加（+1,000人） ③スポーツコミッションウェブサイトの閲覧数（+1,200pv） ④県民のスポーツ実施率（+15%）

※富山県、富山市、黒部市、南砺市、射水市の広域連携事業

事業概要【大阪・関西万博を契機とした人材と産業の成長と地域力向上プロジェクト】

申請者	富山県、南砺市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	333,635千円 (137,845千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	多様な人材が関係人口として本県に集積することにより、外部の新たな視点と地域との交流が生まれることで新たな価値や産業が創出され、地域が活性化し、本県経済のさらなる成長につながる。そして、本県に集う人々が本県のウェルビーイングなライフスタイルを発信することにより、その情報を受け取り本県の関係人口となる人々が一層増加するという好循環を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 万博を契機として、県外の方を関係人口として県内に呼び込むことにより、富山県のものでづくり産業における人材確保につなげるだけでなく、富山県と積極的に関わる多様な人材の育成を図るとともに、関係人口と地域が交流することによる地域活性化につなげる。 【ソフト事業経費】 ●関係人口の創出促進 ・関係人口の創出と、関係人口との連携による新産業の創出やスタートアップなど、県内経済の活性化に向けた戦略検討のための会議を開催 開催事務費 7,000千円ほか ●関係人口を生かした地域活性化や人材の育成 ・県内事業者と連携して進めるプロジェクトや社会実験を創出するため、フォーラムやワークショップ、異業種交流会等を開催 委託料 24,000千円ほか						
地域の多様な 主体の参画	自治振興会などのまちづくり組織と協同し、関係人口との共創イベントへの参加/住民へのイベント参画の呼掛けを行う。イベント後のフォローアップ等で意見を徴収しを次年度の企画に反映。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口の創出数（+17,000人） ②コア関係人口の創出数（+75人）

事業概要【四季防災館リニューアル事業】

申請者	富山県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	294,943千円 (294,943千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	・四季防災館をリニューアルし、「防災×体験×観光」を組み合わせた県内外から人を呼び込み、観光業の復興に向けた新たな拠点とする。 ・県民の防災意識の高揚や富山県の災害への強さをPRすることにより居住地として選ばれ・住み続けたいと思われまちをつくる。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 四季防災館のリニューアルによる、展示内容の充実及び体験学習の強化 ・能登半島地震を始めとした近年の災害に関するコーナーの新設や改修 ・全国有数のバリエーションを誇る既存コーナーの強化 ・多言語対応 など 【拠点整備事業経費】 ○四季防災館リニューアル事業費 ・工事請負費 279,983千円 ・実施設計委託料 14,960千円							
地域の多様な 主体の参画	・指定管理者による、利用者の増加につながるような多様なイベントの開催 ・県外からの誘客を目的とした、観光団体によるプロモーション ・大学による、学術的視点からの施設への助言						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数 (+1,000千人) ②四季防災館の利用者数 (+15,493人) ③四季防災館への県外からの利用団体数兼利用学校数 (+60団体) ④イタイイタイ病資料館との連携無料送迎バス運行回数 (+20回)

事業概要【富山市総合体育館Rコンセッション事業】

旧制度（拠点）

申請者	富山県富山市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,000,000千円(567,011千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	既存施設の魅力を最大限生かすため、プロバスケットボールリーグ「Bリーグ・プレミア」基準に対応したアリーナ改修をPFI事業の「R方式」、施設運営を「コンセッション方式」とする「Rコンセッション事業」とし、民間活力やノウハウを活用した自由度の高い事業を展開することで、プロバスケットボールチームとの連携による興行をはじめ、コンサート等の多様で良質な興行を誘致し、富山駅北地区全体の回遊性の向上や、関係人口、交流人口の拡大を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	市総合体育館における、Bプレミアで求められている基準の充足や施設の魅力向上を図るための施設改修等をPFI事業の「R方式」、施設運営を「コンセッション方式」とする「Rコンセッション事業」とし、民間活力やノウハウを活用した自由度の高い事業を展開し多様な収益源を確保することで「稼ぐ力」を高めるとともに、デジタル技術を活用した効率的な維持管理によって施設の持続可能性を高める。 具体的には、AIロボット掃除機に加え、ICTを活用した施設管理システムを導入し、スケジュールや設備台帳、メンテナンス計画、電力料等の情報をデジタルで一元管理することで、点検や修繕に係る時間とコストの削減を図るだけでなく、これまで紙媒体等で提出していた施設管理情報も市側でリアルタイムで確認可能となり、事業者と市の双方にとって効率的な維持管理が可能となる。 また、Bリーグと連携し、ARやマルチアングル等を活用した臨場感溢れる映像コンテンツの発信に取り組む。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築改修費】308,775千円 【設計費】56,947千円 【建築物と不可分の設備改修費】201,289千円		
KPI	① 富山市の世帯数（+8,750世帯） ② Bリーグ興行における1試合平均入場者数（+420人） ③ 市総合体育館及び市3×3バスケットボールコートにおける興行開催回数（Bリーグ公式戦除く）（+5回） ④ 富山駅北側の平均歩行者通行量（+650人） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証） https://www.city.toyama.lg.jp/shisei/seisaku/1010738/1011468/1002487.html



事業概要【市民との協働による地域課題の解決と付加価値の創造による持続可能なまちづくり事業】

申請者	富山県富山市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	125,347千円 (33,200千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	少子・超高齢化による人口減少が進行する中で、市民が積極的に地域活動に参加する機運を高め、様々な活動において行政・市民・企業等が協働し地域の抱える課題の共有や解決に取り組むことで、地域住民同士の連帯感の醸成、コミュニティの活性化につなげる。また、様々な取組を通じて付加価値を創造し、現在の市民だけでなく、次世代の市民となりうる人にも積極的に「選ばれるまち」となることで、持続可能なまちづくりを実現する。						
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○「富山市に住み続ける・帰ってくる・貢献する」意識の醸成 ・「それって富山市！？」プロモーション事業 (委託料) 5,000千円 ・移住受入促進事業(委託料) 4,500千円 ○持続可能な付加価値創造事業 ・富山市版オリジナルSDGs学習ボードゲームの開発 (委託料) 3,000千円 ・SDGs先進中小企業ミートアップツアー(委託料) 3,000千円 ○地域の活性化に向けた取組 ・学校跡地等活用事業(委託料、手数料) 7,700千円 ・「TOYAMAまちなか音楽祭」事業(委託料) 10,000千円						
地域の多様な主体の参画	・富山県及び県内各市町村と連携し、移住セミナーや移住体験ツアー、中小企業発展のためのSDGsセミナーなどを実施することで、スケールメリットを生かした、より効果的な事業の実施、広報周知に取り組む。 ・県内マスコミや地域住民と連携し、移住ツアー・学校跡地活用、広報等の検討段階から、事業内容への意見の反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①富山市の世帯数(+3,450世帯) ②富山市から発信する情報の閲覧・投稿者数(+46,729人) ③県内大学卒業生の県内就職率(+4%)

事業概要【若者・女性が魅力とを感じる雇用の創出と、個別アプローチによる関係人口・移住促進事業】

申請者	富山県富山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	155,664千円 (49,519千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	今後も地域の中核都市として現在の都市規模を維持していくために、若者や女性に選ばれるまち（＝楽しいまち）を目指し、様々な取組を通じて魅力的な雇道を創出するとともに、移住、定住・定着を促すことで、中期的な視点では人口減少を「緩和」させ、長期的な視点では人口を「定常化」させることを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○若年世代の実質所得の向上や若者（女性）が魅力と感ぜられる雇道の創出・質の改善・発信 ・若者や女性が魅力を感じるオフィス誘致（委託料）5,000千円 県外製造業、情報通信関連企業へのニーズ調査の実施及び積極的なアプローチによる空き工業用地やオフィス等への立地を促進 ○関係人口の創出 ・しあわせプロモーション（委託料）9,000千円 ・みらい市民パスポート（委託料）8,000千円 ○移住、定住・定着の促進 ・移住者発掘・トータルサポート（委託料）14,200千円 Webマーケティングなどの手法を活用した、移住希望者の「見える化・ネットワーク化」及び移住希望者の意向に合わせた、個別最適化されたアプローチの実施等						
地域の多様な 主体の参画	- 富山商工会議所と共同で事業を推進することで、民間の視点を生かしたノウハウやアイデアを反映したより効果的な事業に取り組む。 - 高等学校や大学、地域住民（先輩移住者）と連携し、当事者目線の意見を反映した移住定住促進の事業に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 移住者数（移住相談窓口を通じた県外からの移住者数）（+60人） ② みらい市民パスポート発行枚数（2,700枚） ③ X、Instagram、WEB広告等による富山市から発信する情報の閲覧・投稿（+40,700人）

事業概要【共助と多様な担い手による、「地域コミュニティ」の再生と「稼ぐ力」の向上事業】

申請者	富山県富山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	199,003千円 (69,733千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・ 児童・生徒や学生を含む全世代の市民が、本市の魅力や地域資源を再発見し、将来を考え、行動する意識の醸成を行うとともに、年齢を問わず誰もが安心して生活することができるコミュニティ機能の維持や新たな「共助」体制の構築を図る。 ・ 自然・文化・芸術などのこれまで十分にいかされてこなかった地域資源をブラッシュアップし、最大限活用することで都市の「稼ぐ力」を向上させ、観光を通じた持続可能な地域活性化の好循環を創出する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○地域への投資 ・ 地域資源の再認識による一体感とシビックプライドの醸成（委託料）26,000千円 ・ 多様な地域資源や地域コミュニティを再認識する機会として、「過去・現在・未来」をテーマに市民参加型事業を実施 ○地域資源のブラッシュアップによる高付加価値化、地域の稼ぐ力向上 ・ TOYAMAから世界への舞台芸術発信（委託料）13,000千円 ・ 「ガラスの街×すしのまち」とやま（委託料）6,710千円 ・ 主要事業の魅せる化（委託料）6,500千円 ・ プラットフォーム作成による本市の主要事業の魅せる化の実施 等						
地域の多様な 主体の参画	・ 市内高等学校や地域住民と連携し、地域資源のブラッシュアップや伝統行事の継承、シビックプライドの醸成、コミュニティ機能の維持をはかるとともに、市内事業者と共同で事業を実施し、地域資源や伝統行事等を活用した観光誘客に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 富山ガラス工房売上高（+10,500千円） ② 観光客入込数（交流人口）（+1,740,200人） ③ 企業版ふるさと納税を活用し本市へ寄附を行った企業数（+30社）

事業概要【DX・GXと多様な人材の多様な働き方による、都市の生産性向上事業】

申請者	富山県富山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	67,638千円 (23,212千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・DX・GXや新技術の社会実装による付加価値の向上などの成功事例を「見える化」し、中小企業等への波及や面的展開を通じ、市内企業の生産性の向上につなげる。 ・市内産農林水産物の販路の拡大を図るとともに、農産物流通のDXを推進するなど、農業者の所得向上と持続可能な「稼げる農業」や新たな担い手確保につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○DX・GX促進による生産性向上 ・企業・団体向け脱炭素化促進（補助金）8,750千円 中小企業の脱炭素化に向けた計画策定や省エネ診断に基づく設備投資等に対する支援 ○多様な人材の多様な働き方による労働力の確保 ・創業等支援（委託料）1,300千円 ・福祉人材確保対策（委託料）1,162千円 モデル地域における教育機関・地域・事業所と連携した福祉人材の掘り起こし・養成、マッチング・就労支援の実施 ○農林水産業の成長産業化 ・農林水産物Web販売支援（委託料）8,000千円 ・水橋地域に根差した農業拠点づくり（委託料）4,000千円 廃校跡地・校舎等を活用した農業拠点の整備					 今、みんなが行動するとき あなたが変われば 未来は変えられる チームとやましは、市民の皆さんや団体・事業者などが自主的にチームを結成し、「チームとやまし」のメンバーとなって温室効果ガスの削減を目指す。市民総参画のプロジェクトです。 TEAM TOYAMA CITY エコカワ	
地域の多様な 主体の参画	・市内事業所と共同でDX・GX施策や農林水産振興施策を推進することで、民間視点のアイデアやノウハウを活用し、市内企業や農業者等の生産性、所得の向上を図るとともに、市内大学・高等学校と連携し、人材確保にも取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 経済構造実態調査における年間製造品出荷額等（+482億円） ② チームとやまし参加事業所数（+50チーム） ③ 農林水産物Web販売支援事業で商品化した商品点数（+150点）

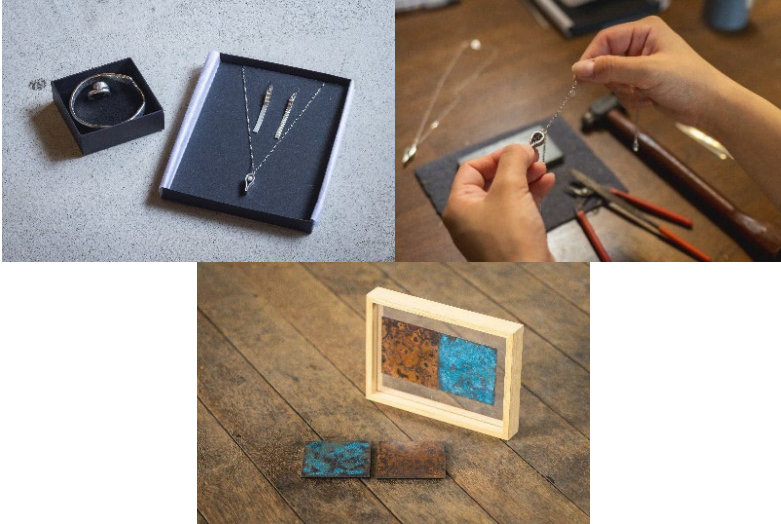
事業概要【ニューヨーク・タイムズ「2025年に行くべき52か所」選定に伴うインバウンド対策事業】

申請者	富山県富山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	182,676千円 (120,936千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	本市がアメリカのニューヨーク・タイムズ「2025年に行くべき52か所」に選定された効果の最大化を図るため、プロモーションから、市内の受入環境の整備、近隣自治体との連携による体験型コンテンツの充実等にいたるまでを、観光協会や商工会議所、近隣市町村や大学等と連携しながら包括的に取り組むことで、富山を素通りさせない観光深化を図り、インバウンドの取り込み、地域経済の活性化に繋げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○外国人観光客等の誘致とシティプロモーションの推進 ・能登復興に向けた「市内イベントへの出店支援」 (負担金) 3,000千円 ○市内における外国人観光客等の受入環境の整備 ・市内主要施設等の多言語化対応(委託料等) 82,085千円 ・体験型観光の推進・PR(委託料) 4,000千円 ・外国人向け富山まるごとおもてなし(委託料) 3,000千円 ○近隣自治体との連携による体験型コンテンツの充実 ・周辺自治体と連携した観光客の分散化 (委託料) 5,000千円 等						
地域の多様な 主体の参画	・富山市観光協会、富山商工会議所などと共同し、事業内容にデータ活用や分析、マーケティング等に基づく意見を反映させるとともに、七尾市、輪島市、珠洲市と連携し、観光モデルコースの作成等に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 市内宿泊施設外国人延べ宿泊者数 (+40,000人) ② 富山市における観光客入込数 (+1,928,200人) ③ コト消費(まちなか観光案内所利用者数) (+10,500人)

事業概要【若者・女性のキャリア発信及び起業・開業・就業支援プロジェクト】旧制度（推進）

申請者	富山県高岡市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	86,970千円（24,090千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・やりがいのある仕事が少ないというイメージを変えるため、多様な職種があることや本市でキャリアを積んでいくことができることを発信し、学生の市内定着やUターンを促進する。 ・地域課題をビジネスの手法で解決するコミュニティビジネスの起業など、地方での新たなしごとを創出する。 ・人手不足が課題の分野での就業を支援し、人材確保を図るとともに地方へ人の流れを創出する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○学生を対象として、市内企業の仕事を体験するインターンシップの機会や女性先輩社員のキャリアについて話を聞く機会を創出 ・インターンシップ運営、動画の制作 (委託料) 8,850千円 (うち対象外経費3,680千円) ○学生とともに課題解決に取り組む企業への支援 ・地域課題解決に取り組む企業への支援 (委託料) 750千円 (消耗品費) 300千円 ○新たなビジネスの創出を模索する人・団体と、地域課題をつなぐマッチングや人材育成セミナーを実施 ・マッチング、セミナーの実施 (委託料) 8,510千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①生産年齢人口のUターン数（+300人） ②創業件数（累計）（+360件） ③県外大学等卒業時に就職した者に占める県内Uターン就職者の割合（+2.6%） ④転入・転出の均衡（+362人）		関連URL https://www.city.takaoka.toyama.jp/gyosei/gyoseijoho/seisaku_keikaku/13/6870.html

事業概要【「ものづくりのまち」高岡の地域資源を活かした地方経済の創生プロジェクト】

申請者	富山県高岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	38,525千円 (11,045千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 本市の強み（＝地域資源）である「高岡銅器」や「高岡漆器」等の伝統産業の魅力を地域外の人々に発信し、体験してもらうことで伝統産業を核とした交流や新たな産業の創出につなげる。また、インバウンド需要を取り込み、国内外からの観光客を増加させることで、観光消費を拡大させ地域経済を発展させる。 - 産業の活性化や地域経済を発展させることで、伝統産業の担い手不足の解消および東京圏への人口流出を防ぎ人口の維持を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ・インバウンドに対応した観光動画の製作・活用（補助金）3,000千円 ・工芸体験と和菓子づくり体験がセットになったクーポンのPR（補助金）2,500千円 ・街中で伝統工芸品のものづくり体験や漆器職人による実演、伝統産業に特化した動画を作成（補助金）3,105千円 ・児童に伝統的工芸品の製作体験事業を実施（補助金100千円） ・夏休みに美術館等が開発した伝統工芸やものづくりの歴史を学べるプログラムを実施（補助金）100千円						
地域の多様な 主体の参画	当該事業との相乗効果を図るため、観光協会や地元企業、地場産業センターにイベントを開催してもらう。小学校に伝統産業にかかる体験事業に取り組んでもらう。また、地域おこし協力隊やナビライターに情報発信・情報提供をしてもらう。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光関連施設の売上高（＋45,288千円） ②伝統工芸品の生産額（＋406百万円） ③外国人宿泊者数（＋4,263人） ④観光客入込数（＋34万人） ⑤高岡地域地場産センターへの来場者数（＋1,500人）

事業概要【人と水がめぐるまち。魚津市活性化プロジェクト】

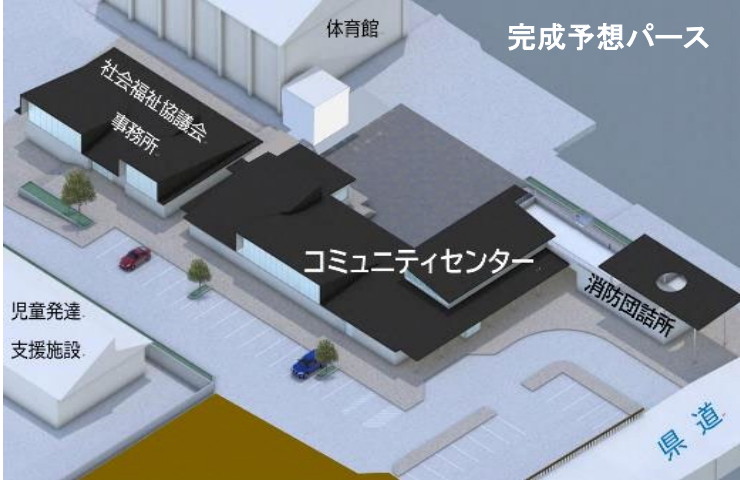
旧制度（推進）

申請者	富山県魚津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	10,900千円（3,162千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・担い手として、外国人を含めて市外からのマンパワーを活用し、地域活動・地域産業の活性化を図る。 ・まちの活性化に寄与する人材の発掘、発掘した人材を育成・活用する体制を構築する。 ・域外人材と地域住民との交流により関係を深化させ、地域内での内発的発展に繋げる。 ・魚津市に関心・愛着を持ってもらい、「第二のふるさと」として将来的な二拠点居住・移住に繋げる。		
事業概要・ 主な経費	○博物館ワーケーション 夏休み・冬休み期間に魚津水族博物館・埋没林博物館を活用し、子どもは自由研究、親はコワーキング等でテレワークを行い、地域の親子との交流を図る。 ・会場使用料等 470千円 ○うおづ親子第2のふるさとづくりプロジェクト 首都圏在住の親子を対象としたファミリーワーケーション事業。子どもは市内の公立小学校に1学期毎5日間ずつ体験入学を実施。 ・企画運営費（広告料含む） 513千円 ○魚津市一次産業ワーケーション 都市居住者を対象に、一次産業の現場で年15日間の作業体験を行ってもらうワーケーション事業。 ・企画運営費（委託料） 1,739千円 ○魚津市ワーケーションアドバイザー事業 地域の特性やニーズに応じた関係人口創出のためのアドバイスをを行い、テレワーカーに対して効果的なプロモーション活動を展開する。 ・アドバイザー委託料 440千円		
KPI	①地域へのUIターン数（+90人） ②市の関係人口事業に参加するレポート数（+89人） ③本事業の域外参加者を受入する人材・事業者数（+30者） ④定住応援室が運営するSNSのフォロワー数及びHPアクセス数（+32,068人）	関連URL	(効果検証) https://www.city.uozu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=8497&topkb

※経費内訳はR7年度事業費



事業概要【地域共生社会実現のための基幹となるコミュニティ施設整備事業】

申請者	富山県魚津市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	716,930千円 (681,180千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	まちづくり分野
目的・効果	閉校した小学校の跡地に、コミュニティセンターを核とした複合施設を整備する。社会福祉協議会事務所と、消防団詰所を集約することによって、地域コミュニティと社会福祉協議会の活動連携の強化、また、地域防災の拠点化を図る。施設内にコミュニティカフェを設け、あらゆる人々が気軽に立ち寄れる居場所づくりを行い、地域共生社会の実現につなげる。また、地域コミュニティ活動を活性化し、小規模多機能自治を推進する。							
事業概要・ 主な経費	【施設概要】 上野方地域コミュニティセンター（580㎡） 【建築主体工事】458,000千円（うち、交付対象 287,000千円） 【建築物と不可分な設備工事】102,000千円 ＜内訳＞ 電気設備工事 60,000千円（うち、交付対象 50,000千円） 機械設備工事 42,000千円（うち、交付対象 26,000千円） 【管理監督業務委託費】 22,400千円（うち、交付対象 13,000千円） 【外構工事】98,780千円（うち、交付対象 62,370千円） ※経費内訳はR7年度事業費 ※一体的に整備する、社会福祉協議会事務所（320㎡）及び、消防団詰所（90㎡）は交付対象外							
地域の多様な 主体の参画	コミュニティセンターの指定管理者（地元地域振興会を想定）による小規模多機能自治の推進。隣接する社会福祉協議会との連携による地域共生社会実現のための事業を、コミュニティカフェを活用して実施する。また、地域の農業者と指定管理者が協働して地元農産品の販売や果樹を利用した商品の開発に取り組む。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（上野方地区）（▲150人） ②コミュニティセンター利用者数（+1,250人） ③コミュニティカフェ利用者数（+3,500人） ④地域共生社会実現を目的として実施した行事数（+12回）

事業概要【旧北陸街道周辺の歴史や佇まいに萌える“たび人”を巻き込んだまちづくりプロジェクト事業】

旧制度（推進）

申請者	富山県滑川市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	25,070千円（7,414千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・北陸街道の宿場町として栄えた旧町部において歴史的文化財を活用したイベント実施、まちづくりの機運醸成と空き家の利活用を目的としたワークショップ等の開催や外部人材を巻き込みことで魅力的なまちづくりを行い地域の交流人材や関係人口の増加を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○歴史的文化財を活用したイベントの開催 ・出演者謝礼 300千円 ・会場使用料 5千円 ・パンフレット作成等 31千円 ○「滑川まちづくり戦略」の策定 ・委託 3,700千円 ○地域に変化を生み出す外部人材（なめりかわアンバサダー）の確保 ・空き家賃借料等 859千円 ・空き家使用に係る光熱水費等 108千円 ・なめりかわアンバサダー旅費 311千円 ○利活用促進のための国登録有形文化財の修繕工事に対する補助 ・補助金 2,100千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の交流人口・関係人口数（+155人） ②空き家での店舗開業件数（+3件） ③イベント等で活用した国登録有形文化財の数（+18件） ④なめりかわアンバサダーの認定者数（+12人）		関連URL https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/kouminrenkei/gyojuji/9268.html https://www1.g-reiki.net/city.namerikawa/reiki_honbun/i007RG00000746.html

事業概要【デジタル人材育成により実現する滑川イノベーション事業】

旧制度（推進）

申請者	富山県滑川市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	73,240千円（23,470千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	市内の中小企業・個人事業主に対してDXの伴走支援を行うことで、選ばれ続ける元気な企業づくりを推進するとともに、伴走支援を行うアドバイザーを、地域の人材が担えるように人材育成を行いデジタル人材の地産地消による地域経済の好循環を実現する。併せて誰もがデジタル社会の恩恵を受けて豊かな暮らしを送ることができるよう、デジタル機器を持たない・使えない方への情報伝達サービス等の実証実験を行う。		
事業概要・ 主な経費	①中小企業等のDX伴走支援やDXの啓発事業（セミナー開催・成果報告会開催等）の実施による、地域企業のDX意識の醸成（13,000千円） ②将来的に地域の人材が企業のDX等を支えるアドバイザーの育成（2,000千円） ③デジタル機器を持たない・使えない方向けのリモートサービス（情報伝達・見守り等）の実証実験（8,470千円） ※経費内訳はR7年度事業費		
KPI	①地域における新規雇用者数（+47人） ②アドバイザーの支援を受けた市内中小企業の営業利益増加率（平均）（+5%） ③事業をきっかけに新たにデジタル機器・サービスを利用した高齢者等の人数（+710人）	関連URL	調整中

事業概要【「笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く 滑川」プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	富山県滑川市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	28,756千円（8,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	AR技術によるホタルイカ定置網漁体験設備の導入や藻場造成に関する調査を大学機関等と連携して実施することにより、子どもたちを中心に郷土愛を醸成し、ホタルイカが棲息する豊かな海を守る取り組みにつなげる。また、地域において不足しているGX人材を育成し、地域で人材を共有する仕組みを構築することで、地域全体でのカーボンニュートラルの取組を推進するとともに、地域に新たな雇用を創出する。		
事業概要・ 主な経費	○2030年の先も変わらぬ「ホタルイカのまち」推進事業 ・「海の世界教室」の開催（委託料） 300千円 ・AR技術によるホタルイカ定置網漁体験設備の保守・運用（委託料） 1,400千円 ・大学機関等と連携した藻場の造成調査費（調査・中間報告） 5,000千円 ○新たな仕事や人材が生まれ育つ、「地育地生のまち」推進事業 ・GXアドバイザー育成（委託料） 1,800千円 ※経費内訳はR7年度事業費		
KPI	①地域の人口の増加数（+10人） ②進学・就職期（15～24歳）の若者の社会動態の増加数（+24人） ③ほたるいかミュージアム入館者の増加数（+6,000人） ④GXアドバイザーの派遣を受けた企業数（+50件）	関連URL	（SDGs未来都市計画及び関連事業リンク） https://www.city.namerikawa.toyama.jp/soshiki/dx/SDGs/9177.html

事業概要【旧町部の歴史文化や公共空間を再活用したまちづくりと観光拠点との連動による「街の再生」プロジェクト事業】

申請者	富山県滑川市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	43,000千円 (8,000千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	旧町部エリアビジョンの策定と民間主導による公有不動産を活用した公民連携導入事業の調査、事業推進組織による一体的なプロジェクトマネジメントを実施し、賑わいと利便性の向上を図り、転入者等のまちなか居住の誘導を実現する。また、旧町部エリアと他観光拠点をAR・VRでデジタル連携し接続性の向上と周遊化を図ることで、域内滞在時間と消費額を向上させ、更なるまちの魅力向上と投資を呼び込み、より住みたいまちづくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○ARコンテンツ制作 活用可能な歴史・文化・趣のある建物・店舗等の素材 収集、文章・画像作成、時期によって更新するコンテンツ データの作成 ・委託 6,000千円 ○ARコンテンツを活かしたイベントの開催 ARコンテンツをまちなかのスポットに配置したことのPR及 びARスポットのアクセス数やSNS投稿に応じたキャンペー ンと連動したプロモーションを実施 ・委託 2,000千円					 【現在の姿】  【昭和30年代の賑わう姿】 	
地域の多様な 主体の参画	大学と遊休不動産を活用した創業者の育成に取り組み、商工会議所は新規創業者に対する事業計画作成等のアドバイスといった伴走支援を行う。 まちづくり共創会議において、まちの再生に対する意見や連携分野の意見交換を実施。					KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域の人口・世帯数 (+170人) ②旧町部エリアに新たに入居した空き家、空き店 舗の数 (+35件) ③事業を通じて来客数が増加した店舗の数 (+ 22件) ④情報コンテンツの利用回数 (+177,500回)

事業概要【 海洋深層水を活用したまちの活性化プロジェクト 】

申請者	富山県滑川市					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	180,400千円 (180,400千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・高濃縮水の製造量を月量約40トンから月量約75トンへ増量することで、高濃縮水を活用した事業を実施する。 ・高濃縮水の増産を図り、製塩工場の市内への進出を促し、市内経済の活性化を図る。 ・海洋深層水天日塩「富山の塩」を増産しブランド化を図り、次世代が誇りを持てるまちづくりを行う。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 深層水分水施設アクアポケットに高圧縮水分水施設の設置工事を行う。 交付金を活用し、深層水の濃縮を目的とした新たなBC膜設備を設置することで、製造過程が効率化され、より濃度の高い濃縮水を大量に製造することができる。高濃縮水の製造量、さらに濃縮濃度も現在の13%程度から15%以上に上げることができることから、天日塩「富山の塩」の製造の効率化、増産を図る。「富山の塩」販売量が増えることで、全国展開が可能となり「滑川の海洋深層水」がブランド化され、次世代が誇りを持てるまちづくりにつながるとともに、次世代の人材を育て、市の魅力を継承して、持続可能な滑川にしていくことを推進する。また、施設整備を行うことで、高濃縮水を利用した製塩事業を行っている市外事業者が、コストや運搬時間削減等の関係から市内への進出を検討しているため、製塩工場の市内への進出を促し、雇用の創出を図る。 【拠点整備事業経費】 ○深層水分水施設アクアポケットに高濃縮分水施設を整備 ・施設整備 180,400千円						
地域の多様な 主体の参画	指定管理者主導のもと、利用者の増加を図るためのイベントの開催や深層水の活用方法についてのアドバイスを運営の中で行う。 富山県立滑川高等学校と共同で商品開発に取り組む。あわせて市内事業者の商品開発や販路開拓を推進するため、商工会議所等、地域内での連携を促進する。食育の観点からなめりかわ食育サポーターの会より意見を集約し、海洋深層水の利活用や商品への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①市内の年間商品販売額（+83億円） ②海洋深層水天日塩の売上（+135万円） ③海洋深層水を活用する企業の市内進出数（2社） ④海洋深層水高濃縮水の売上（+40万円）

事業概要【集まれおやベファン！関係人口創出事業】

申請者	富山県小矢部市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	23,960千円 (4,830千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・小矢部市との繋がりをより深く求める人で構成する「おやベファンクラブ」を設立し、会員のニーズに沿った情報発信による関係人口の創出を図る ・関係人口の創出を契機とし、UIターンや移住・定住につなげ、持続可能な地域の実現を目指す						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○事務局運営費 ・事務費、事務局員人件費 1,870千円 ○会員獲得のための農業体験事業（補助金）250千円 ○会員獲得のための動画製作費（委託料）300千円 ○高校生を対象としたファンクラブに対する意識調査等（委託料）500千円 ○学生を対象とした企業会員事業所訪問（借上料）310千円 ○首都圏等におけるファンイベントの実施（委託料等）600千円 ○企業会員向け採用促進動画製作費助成（補助金）1,000千円						
地域の多様な 主体の参画	市商工会と連携して、企業等に対する会員募集並びに支援制度の周知やUターン就職者の受け入れを希望する企業等との調整に取り組む。 また、自治組織団体を通じてファンクラブの周知及び会員の募集を行い、実施事業や施策に対するアドバイスや評価を受け、改善につなげていく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①社会動態（±0人） ②ファンクラブ会員数（+600人） ③会員向け情報の発信回数（+33回） ④マッチング事業によるUIターン就職件数（+6件）

事業概要【土徳とニューツーリズムで紡ぐ南砺ファンとの関係強化による持続可能な観光地の創生】

申請者	富山県南砺市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	145,048千円（23,075千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・地域に根付く伝統、文化の維持、保全、継承を推進する。 ・さらなる南砺ファン獲得のためニューツーリズムを展開する。 ・南砺ファンとのコミュニケーションを通じた南砺ブランドの発信及び誘客推進を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 伝統、文化の維持、保全、継承事業を重点的にを行い、伝統文化を継承する人材の確保等に取り組む。また、新たな観光スタイルを模索して、持続可能な観光地の創生を目指す。 【主な経費】 ○伝統的産業人材育成支援事業 ・伝統的工芸品産業再生支援事業（補助金）1,000千円 ・帰農塾、就農マッチングツアー（委託料）1,150千円 ○南砺市を深く知ってもらうためのニューツーリズムの展開 ・ニューツーリズム推進事業（委託料）2,585千円 ・VR360°バーチャルツアープロモーション（委託料）1,700千円 ○南砺ブランドの発信及び誘客推進 ・観光プロモーション事業（委託料）9,410千円 ・ブランド商品開発、ECサイト運営(委託料)5,383千円 ・ブランド、観光商品開発支援事業(補助金・負担金)1,770千円    		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①南砺ファンの総数（+1,350人） ②ふるさと寄附金収入（+22,500千円） ③新規伝統的工芸品職人数（+16人）	関連URL	https://www.city.nanto.toyama.jp/index.html

事業概要【若者から選ばれる「寛容なまち南砺」創生プロジェクト】

申請者	富山県南砺市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	286,620千円 (57,189千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・顔が見える移住相談・就活支援・情報提供体制を構築する。 ・若者どうしの交流による新たな価値創造を推進する。 ・寛容でチャレンジ精神旺盛なまちを創造する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 移住希望者一人ひとりのニーズに対してワンストップで顔が見える相談・情報提供体制を構築し、不安や不満を解消し、さらには出会い・結婚へと結び付けていくことで若者の定着化をはかる。 【ソフト事業経費】 ○顔が見える移住相談・就活支援・情報提供体制の構築 ・移住コンシェルジュ配置（負担金・事務費）957千円 ・移住コーディネート事業（委託料・事務費）10,514千円 ・就活・雇用支援事業（委託料）8,568千円 ○若者どうしの交流による新たな価値創造 ・婚活支援事業（委託料・事務費）8,646千円 ・若者ネットワーク構築事業（委託料）3,342千円 ○寛容でチャレンジ精神あふれるまち創造 ・働き方改革、子どもの権利普及事業（委託料・事務費）4,710千円 ・若者、女性から選ばれる企業への変革応援事業（補助金）8,750千円					 誰ひとり取り残さない 誰もが笑顔で暮らし続けられるまちへ	
地域の多様な 主体の参画	南砺市商工会・観光協会、富山県、大学および地域づくり協議会の意見を取り組みに反映し、富山県の県出先機関とも連携して事業を実施し効果を高める。また、学生やローカルプレイヤー受入れを支援し、意見交換や情報提供を通じて各施策の費用対効果を向上する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①若者（20～39歳）の純移動率の改善（+4.7%） ②市内企業に就職した新卒学生数（+47人） ③寛容な社会が形成されていると感じる市民（20～39歳）の割合（+18.6%）

事業概要【シビックプライドの醸成と多様な主体による地域の担い手人材育成プロジェクト】

申請者	富山県南砺市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	143,834千円 (51,779千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・自分の地域を愛し誇りに思い、地域をもっと良くしたい、地域に関わりたいと思う人を増やす。 ・地域のニーズに応じたプロジェクトや活動を提案し、多様な主体が自分のスキルや経験を活かせる場を提供する。 ・地域内外を問わない担い手を受入れ、移住者や関係人口とともに地域活力を創造していく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 地域の魅力と文化を再発見し、市民の誇りを深めることで、地域活動を担う人材を育成・確保し、住民自治組織を強化する。市の魅力を発信して市外から人を呼び込み、地域との継続的な関わりを促進し、人口減少下でも地域活力を持続的に生み出す。 【ソフト事業経費】 ○地域への愛着・誇りの醸成 ・伝統文化映像化事業（委託料）1,830千円 ・ふるさと再発見事業（事務費）2,200千円 ・SNS動画作成支援事業（委託料）4,620千円 ○持続可能な住民自治組織構築に向けた運営体制強化 ・住民自治推進交付金（補助金）26,000千円 ※地域が課題解決に取り組む経費 ○多様な主体による地域の担い手人材の確保 ・市民活動伴走支援体制強化事業（委託料）6,831千円 ・地域共創人材育成事業（委託料）4,855千円					 学ぶ・考える 地域の課題って何？  交通弱者支援  農業の担い手育成  伝統芸能の継承	
地域の多様な 主体の参画	南砺市商工会・観光協会、富山県、大学および地域づくり協議会の意見を取り組みに反映し、富山県の県出先機関とも連携して事業を実施し効果を高める。また、学生やローカルプレイヤー受入れを支援し、意見交換や情報提供を通じて各施策の費用対効果を向上する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①南砺市応援市民の登録者数（+300人） ②地域づくり協議会が地域課題解決のために独自で取り組む事業件数（+7件） ③事業により実施された地域課題解決の実施件数（+10件）

事業概要【射水市道の駅新湊等整備運営事業】

旧制度（拠点）

申請者	富山県射水市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	822,474千円（771,654千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的・効果	新湊漁港で水揚げされる海産物の魅力を効果的に情報発信できず、観光消費に繋がっていないなどの課題に対応するため、躯体の劣化が進んでいた道の駅新湊の大規模改修を行うとともに、施設の設置意義が低下していた新湊農村環境改善センターを道の駅新湊別館としてリニューアルし、「射水ブランド」の高付加価値化や観光誘客等を推進する。		
整備内容・ 利活用方策	リニューアル後の道の駅では、農協や漁協などと連携し、本市の魅力ある食材を活用した独自商品の開発や地元産品の販売促進、地域資源のブランディングに取り組む。販売促進に当たっては、現地決済型ふるさと納税システムの構築やECサイトの設置、キャッシュレス決済やITを活用した多言語対応といった、デジタル技術を活用した手法の導入を進めていく。また、タッチパネル型のデジタルサイネージの導入により、観光地情報の多言語化、選択されたトピックスを参考に推奨観光モデルコース等を表示するほか、スマートフォンのGPSのビッグデータを活用し、今まで計測できなかった層も含めた精緻な分析をすることで、観光地への観光客誘導にも取り組み、経済波及効果を地域へ波及させ、市内全体での「稼げる観光」の実現を目指す。 ○道の駅新湊及び旧新湊農村環境改善センター大規模改修 【建築物本体工事】 建築工事費 537,840千円、工事監理委託費7,380千円 【道の駅別館駐車場舗装工事】 67,974千円		
KPI	①地域における観光消費額（+256,410千円） ②道の駅新湊売上総額（+154,269千円） ③スマートフォンGPSデータに基づく道の駅周辺エリア来訪者数（+127,625人） ④6次産業化推進事業件数（累計）（+4件）		（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=17455 （効果検証） https://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=47146



事業概要【誰もが夢をカタチにできる人流イノベーションシティ射水創造プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	富山県射水市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	466,215千円（155,454千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	空き家や空き店舗を地域資源として捉えて、それらを活用して新しい暮らしや仕事を始めたい人がチャレンジしやすい環境をつくることで、日常的に人が集い交流が生まれるエリアを生み出す。さらにエリアの魅力を広く発信して地域外からの関心を集め、合わせてエリアへのアクセスの利便性を向上させる2次交通を確保してエリア内外の人の流れを創出することで、持続可能な好循環が生まれる地域づくりを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	●新しい暮らし方への挑戦（活動・移住・仕事）応援事業 ・中小企業支援・交流の拠点整備運営支援事業（委託料）39,410千円 ・市内商店街空き店舗調査事業（委託料）5,000千円 ・空き物件チャレンジショップ応援事業（補助金）20,000千円 ・移住・空き家トータルサポート事業（委託料）17,364千円 ・ウォーカブルなまちづくり推進事業（補助金）5,000千円 ●エリア外の人に関心を集める風土づくり事業 ・内川周辺のエリア発信事業（委託料）4,200千円 ●新たな人流を生み出す地域交通事業 ・電気自動車によるAIデマンド型地域公共交通の実証運行（委託料）29,140千円 ・電動キックボード等の新しい移動手段の実証運行（委託料）3,000千円	事業の方向性 ・1 新しい暮らし方への挑戦（活動・移住・仕事）を応援する ・2 地域外の人に関心を集める風土をつくる ・3 新たな人流を生み出す地域交通を確保する	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新湊及び小杉地区の旧市街地エリアの人口（▲432人） ②空き物件チャレンジショップ応援事業補助金交付件数（+10件） ③あいの風とやま鉄道小杉駅乗車数（1日あたり）（+180人） ④内川エリア（川の駅新湊）年間来訪者数（2,400人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=17455 （効果検証） https://www.city.imizu.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=47146

事業概要【子育て共助のまちづくり「舟橋型子育て支援」交付金事業】

申請者	富山県舟橋村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	114,000千円 (54,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	「繋がる安心感」と「関わる楽しさ」の醸成や、ゆるやかなコミュニティを魅力としたまちづくりを進めるとともに、各種活動を通じ参加者の「自己実現」と「家族のしあわせ」が叶う場（＝機会）の創出を図り、暮らしの満足感を高める。 - ライフスタイルに合わせた小さなビジネス支援など、多様な魅力ある仕事づくりを推進することにより、「子育て世代に選ばれるまち」、「私と家族の“いいね！”いっぱいのもち」、「もうひとり育てたくなるまち」を実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○地方創生人材育成プログラム事業：20,000千円 ・プログラム事業委託 12,000千円 ・まちづくり団体活動支援 8,000千円 ○新住民・旧住民交流促進事業：26,500千円 ・園むすびプロジェクト 7,000千円 ・京坪川河川公園イベント 2,000千円 ・京坪川河川公園整備 8,500千円 ・サンフラワープロジェクト 3,000千円 ・舟橋会館活用イベント 3,000千円 ・自治会主催の交流イベント 3,000千円 【拠点整備事業】 ○舟橋会館大ホール整備事業：7,500千円 ・移動観覧席制御システム整備					▽サンフラワープロジェクト  ▽交流イベント  ▽人材育成  ▽環境整備 	
地域の多様な 主体の参画	自治会やシルバー人材センターと協力し、地域住民主導による住民交流イベントの開催を後押しするとともに、県内外の企業と連携して、関係人口の拡大や地域の交流拠点の活性化に繋がるイベントを開催する。 金融機関やマスコミと連携し、舟橋村における地方創生の取組みを幅広く情報発信し、舟橋村の取組みに関心を有する県内外の企業からの支援に取り組み、プロジェクトの規模拡大や来村人口の増加に繋げる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県外からの舟橋村への転入者数（+30人） ②地方創生人材育成プログラムの参加人数（+60人） ③子育て世代の転入世帯数（+24世帯） ④出生者数（+30人） ⑤ひまわり油の生産量（+40L）

旧制度（推進）

申請者	富山県上市町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	23,609千円(6,649千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 子どもを産み育てられる環境をつくり移住促進を進め、若い世代の流出に歯止めをかけ人口増加を図る - 出会いの場の創出や人との交流をつくる魅力あるイベントの場の提供や情報発信を進め、出生数の増加に努め、少子化対策を図る - 町民が自分の町に愛着を持ち自信を持つよう意識改革を促し、情報発信や地域での連携を進め、認知度を高めるための戦略的PRを図る		
事業概要・ 主な経費	○移住者に選ばれる町、社会増を目指す ・どこにも負けない移住・子育て情報発信事業 セミナー開催、記事や動画作成経費(委託料1,500千円) ・関係人口拡大に向けた「移住×特産品情報発信」及び「首都圏で直に魅力を伝える交流会」 情報発信、交流イベント経費(委託料1,859千円) ・子育て家族・移住者・趣味が一緒の仲間が集まる地方創生SDGsイベント開催 イベント開催経費(委託料等2,300千円) ・移住相談・地域体験プログラム事業(委託料990千円)		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①地域へのUIターン数(+30人) ②人口の社会増減(+75人) ③合計特殊出生率(+0.39)	関連URL	https://www.town.kamiichi.toyama.jp/

事業概要【まちの中心「地鉄立山線五百石駅周辺」便利な街へ再設計事業】

申請者	富山県立山町					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	125,500千円 (24,260千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・五百石駅周辺の商業展開の基盤を整え、五百石駅周辺での起業支援や交流の促進、五百石駅から富山地方鉄道を利用して立山黒部アルペンルート等へ向かう観光者の増加等に取り組むことにより、地域内外の経済循環が創出され、五百石駅周辺の営みが増し、酒類を提供できる飲食店や起業店舗等の従業員といった雇用の創出が生まれ、活気にあふれた町を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【ソフト事業経費】 ○五百石駅周辺の「街」再設計事業 ・事業費 10,433千円 「空き家びらき」マルシェ、ワークショップ開催経費、 まちなかでの賑わいづくりイベント開催費等 ○E-BIKEステーション運営・管理委託料 ・事業費 8,460千円 E-BIKE等新モビリティ拠点施設整備経費、 サイクルステーション等PR経費等 ○五百石駅発着ツアーの造成・実施及び歓迎イベントの開催事業 ・事業費 4,450千円 五百石駅前での歓迎イベント、PR経費等 ○地鉄立山線の利用促進事業 ・事業費 917千円 駅前花いっぱい沿線の耕作放棄田に菜の花プロジェクト経費等					 富山地方鉄道五百石駅・元気交流ステーション「みらいぶ」 E-BIKEで 周遊 平野部の観光資源ヘルジアンウッド	
地域の多様な 主体の参画	地域商社の立場や町全体の観光事業を行う団体としての立場からイベントを開催してもらい、参加者の増加等につなげるとともに、地元高校生と連携し、参加者目線での意見も吸い上げ、まちづくりや町の課題（解決）について、事業内容への反映に取り組む。					KPI	①五百石駅前通行量（+50人） ②E-BIKEレンタル件数（+50件） ③地鉄立山線乗降者数（+50人）

※経費内訳はR7年度事業費

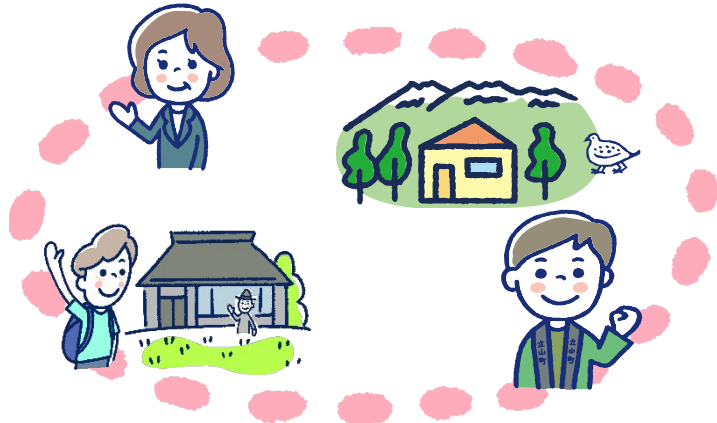
※カッコ内の数値は最
終事業年度までの
「KPI増加分の累計」
の目標値

事業概要【地域資源の磨き上げ・地域外への販売力向上で働きたくなる地域商社魅力向上事業】

旧制度（推進）

申請者	富山県立山町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	37,680千円（17,840千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・地域商社に商品企画、ブランディング、マーケティングを扱う新部門を設立し、雇用した担当社員の創造力と行動力で既存商品をブラッシュアップし新たな人気商品を生み出す仕掛け人となってもらう。また、活力と魅力ある職場を作り、働きたいと思わせる企業に地域商社が育ち、地域の力が立ち上げた独り立ちの覚束ない資源を牽引する存在となっていくことが目的である。 ・地域商社の新部門によって磨き上げられた特産品や、大学や企業等と共同で開発した新商品等をまちなかファームで販売し、(仮称)観光物産コンダクターの手により消費地（観光地）である立山黒部アルペンルートにも展開され、経済循環の展開にもつなげる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○域内既存商品の域外販路拡大事業に係る経費 ・商品改良、販売出展など（委託料）4,940千円 ・（仮称）観光物産コンダクターに係る経費 3,000千円 ○域内産業資源の新たな特産品（商品）開発事業に係る経費 ・町が連携協定を締結する大学や企業等との特産品開発など（委託料）9,900千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①教育ローン等返済応援補助金を利用して立山町にUターン就職した者の数（+15人） ②地域商社で取り扱った地域産品の売上額（+3,100千円） ③地域通貨「たてぽ」総利用額（+11,000千円）	関連URL	https://www.town.tateyama.toyama.jp/soshikikarasagasu/kikakueisakuka/hishoseisakukakari/3/2/9434.html （現在調整中）

事業概要【新・移住交流拠点施設「マチの駅 in tateyama」整備、活用事業～窓に立山連峰のある暮らし～】

申請者	富山県立山町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	307,396千円 (298,596千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・新・移住交流拠点施設を新築し、立山町で「暮らしたい」のお手伝いができる新たな空間を創出し、町内外から人を呼ぶ。 ・まちなかに防災児童館複合施設ができ、こども達と一緒に若い親世代が再びまちなかに訪れるようになってきている。この動線を、「暮らしたい」「暮らし続けたい」と思う人達が集う場所となる「マチの駅 in tateyama」を新築することで、再設計を構想中のまちなかへ誘導する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○(仮称)立山工場倶楽部設立に関する事業 1,000千円 主に町内に工場をもつ製造業を中心として構成する組織を作ることで、合同で規模の大きい企業マッチングイベント等の開催できるようにする。 ○町民暮らし発信に関する事業 3,700千円 情報発信コーディネーター（会計年度任用職員）がSNSを活用して町の様々な情報を発信する。 ○ワークショップ開催（大学との連携）600千円 新・移住交流拠点施設「マチの駅 in tateyama」をみんなで作りあげるため、意見を集約する。 【拠点整備事業経費】 ○新・移住交流拠点施設「マチの駅in tateyama」を整備 ・施設整備 210,136千円 ・外構整備 39,160千円 ・備品整備 11,000千円						
地域の多様な 主体の参画	拠点施設整備にあたり、どのような機能を持たせるとよいか等を町と地域作り活動について連携協定を締結している大学の学生が主体となって地区住民等とワークショップを開催し、拠点施設をみんなで作り上げる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+6人） ②拠点施設就労相談等を通じて立山町内の企業に就職した就労者数（+3人） ③ふるさと納税寄附額（+9,000万円）

事業概要【海洋深層水と地下水を活かした入善版ローカルイノベーション拠点整備事業】

旧制度（拠点）

申請者	富山県入善町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,344,757千円（1,233,067千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	町の地域資源である海洋深層水の取水量を増やすため、深層水取水施設や設備を整備し、企業による積極的な事業展開を促進することで、水産業をはじめとした関連産業の雇用の増加を実現し、地域経済の活性化を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	海洋深層水や地下水を活用している民間企業が多く立地し、積極的な事業展開や事業化に向けた取り組みを進めているが、現在の海洋深層水の取水量では不足している。取水量を増やすため、新たに取水施設や取水管を含めた設備などを整備し、民間企業へ分水することで、町の水産業をはじめ観光業、商業の振興、雇用の増を目指す。 海洋深層水の活用にあたっては、取水量や水温、塩分濃度の制御、餌の量など魚の生育管理、魚の成長曲線に応じた調整にデジタル技術を活用することで、蓄積データに基づいた細やかな対応が可能となり、生産効率向上、人員省力化にも資する。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】建築工事費(掘削工含む) 56,300千円 【建築物と不可分な設備工事】ポンプ設備工事費 27,400千円、非常用発電工事費 20,000千円、機械設備工事費 40,000千円、電気設備工事費 30,000千円、受水槽配管工事費 10,000千円 ○施設整備等（設備整備・用地造成）の内容 深層水取水設備(取水管)整備工事費 管材料・製作費 472,257千円、管敷設工事費 367,500千円、推進工事費 209,610千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+60人） ②海洋深層水を活用する企業の設備投資額（+130億円） ③海洋深層水を活用する企業の年間売上高（+28億円） ④町内観光入込数（+120,000人）		
	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.town.nyuzen.toyama.jp/gyosei/chosei/shisaku_keikaku/2592.html	



事業概要【まちづくり会社を中核とした官・民・地域共創型「たのしい未来」づくり事業】

申請者	富山県朝日町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	382,000千円 (98,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	○官/民/地域共創型の持続可能な運営体制「新しい地域スタイル」を構築し、豊かな生活環境を維持する ○豊かな生活環境を維持していくためには、町民がまちづくりに参画することが重要であり、まちづくり会社を中心に若者や子育て世代など多様な町民が興味を持つためのイベント等を実施し、町民同士のつながりや地域への誇り・愛着を育むことで主体的な意欲を引き出し、担い手不足を解消する						
事業概要・主な経費	【事業概要】 行政・民間・地域の垣根を超えた「官・民・地域共創」でサービスの効率化・最大化が図られる事業の構想を行う。加えて各分野横断の連携が可能な施策の調査・検討を行い、町が一体となった新しい地域運営を実現していく。 【ソフト事業経費】 ①事業構想推進費・・・24,000千円 ②まちづくり会社運営推進・・・4,000千円 ③外部人材の獲得費用・・・3,000千円 ④まちづくり会社運営経費（人材費）・・・13,000千円 ⑤まちづくり会社運営経費（DX関連費）・・・6,500千円 ⑥まちづくり会社運営経費（情報発信）・・・5,000千円 ⑦町民参画促進コミュニケーション費用・・・38,000千円 ⑧まちづくり会社設備費・・・5,000千円					目指す将来像 “新しい行政スタイル”から“新しい地域スタイル”へ 住民や民間など町の多様な主体が参画するまちづくり会社を設立し、町が一体となった官民「地域」共創の新しい運営体制を構築。分野や組織の垣根を超えたサービスの一体運営を行い、サービスの効率化・最大化により持続的な生活環境の維持、向上を実現する。 ※経費内訳はR7年度事業費	
地域の多様な主体の参画	毎年実施の「総合計画・総合戦略検証委員会」にて産官学勤労言+住民全般の委員の立場から実施事業や施策に対するアドバイスや評価を受け、事業に反映していく。 また、委員の方々はDXサービスや地域活動におけるステークホルダーであり、改善アクションの実行を責任を持って対応することが可能である。					KPI	①町全体の転出超過者数（+45人） ②町全体の持続性につながる分野内・分野横断の施策数（+15件） ③DXサービスへの参加人数（+2400人） ④まちづくり会社起点で行うワークショップや地域イベントの企画実施数（+85件） ⑤地域全体の多様な担い手人数（+6400人） ⑥新ローカル産業の外貨獲得額（+137,963千円） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値